

2006年(平成18年)8月24日(木曜日)

(第三種郵便物認可)

大海に負けるな！ 元気に育てて

アカウミガメの子75匹 東条海岸から放流

鴨川シーワールド

鴨川シーワールドは、同施設内でふ化させたアカウミガメの子75匹を、東条海岸から放流した。この様子は公開され、波打ち際まで砂浜を歩き、太平洋に消えてゆく子ガメの姿を、300人を超える入園者が見守った。

アカウミガメは、世界中の熱帯から温帯域に分布し、日本では6月から8月に茨城県以南(まれに福島県)の太平洋の砂浜に上陸して、100から150個の卵を産む。ワシントン条約(絶滅の恐れのある野生動物種の国際商取引に関する条約)で、商業目的の取引が禁じられている。国内でも法律や条例で採捕や移動などが規制されている。

同園のある東条海岸は、美しい砂浜が2.5以上続く。毎年、アカウミガメの産卵が確認される。しかし、台風などにより、ふ化する前の卵が流されるケースもあるため、シーワールドでは平成14年から、ふ化しない場所を産卵された卵を保護。施設内の繁殖展示施設「海亀の浜」でふ化させ、子ガメを放流している。

この日、海に放れたのは5月15日に産卵されたもので、産卵場所が台風による高波の影響を受け、心配



波打ち際に向かう子ガメを見守る入園者。東条海岸で

があるため保護。さる8日から18日に、施設でふ化した。

子ガメは、甲羅の長さ6.5センチ、体重は200グラム程度。生きたままの最初の試験

砂浜のデコボコと戦いながら子ガメと波打ち際へ向かった。係員の説明を聞きながら、海に帰る様子を見届けた入園者からは、拍手と歓声があがっていた。

入園者も参加 アカウミガメの子放流

鴨川シーワールド

外 房 新 聞 平成18年8月26日(土)

鴨川シーワールドで、二十日前、入園者が参加してのアカウミガメの子ガメの放流がシーワールド下の東条海岸で行なわれた。(写真)



平成十四年から、ふ化しない場所を産卵した卵を保護。園内にあるウミガメ繁殖の展示施設「海亀の浜」でふ化させ、子ガメを放流している。

今回の放流は、今年の五月、東条海岸で産卵したものの台風などの高波で流失する危険性があることから先月十日に保護したもので、今月八日から十八日にかけてふ化した体長約6.5センチ、体重約200gの子ガメ300匹を、東条海岸から放流された子ガメの様子を波打ち際に向って歩き太平洋に姿を消したが、「元気でね」「がんばって海に帰ってね」と声援がおくられていた。

アカウミガメは、ワシントン条約で絶滅の恐れのある種とされている。産卵は6月から8月にかけて、茨城県以南(まれに福島県)の太平洋の砂浜に上陸して行なわれ、一回に10から150個の卵を産む。東条海岸でも毎年見られる。うちふ化に適さない場所での卵をシーワールドでは保護し、ふ化させている。

なお、シーワールドでは、今月三十一日まで、毎日午後二時から施設内レクチャーホールでアカウミガメの産卵やふ化の様子を写真や映像、子ガメとのふれ合いによる解説、夏休み海の生き物教室、「ウミガメが生まれた」を開催している。